

平成21年度局配分枠予算について

環 境 局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

環境局では、5つの重点方針に基づき、「脱温暖化社会の構築」と「循環型社会の構築」を基本理念において、平成21年度の予算編成を行った。

- ① 地球温暖化対策を柱に据えた環境保全対策の推進
- ② 「循環型都市・京都」の実現に向けた取組の推進
- ③ 環境負荷に配慮した廃棄物適正処理の推進
- ④ 市民、事業者と一体となったまちの美化の推進
- ⑤ 市民サービスの向上や徹底した行財政効率化を目指した業務改善・改革の推進

なお、家庭ごみ有料指定袋制の実施に伴う財源（有料指定袋製造経費等を除く家庭ごみ有料指定袋制による収入相当分）活用については、制度導入後3年経過を契機として、次の観点から「市民環境ファンド」に全額繰り入れ、市民の皆様からいただいた貴重な財源を今まで以上に効果的かつ効率的に活用していく。

- ① 「脱温暖化社会の構築」「循環型社会の構築」に資する他局新規充実施策への活用
- ② 中長期的な視点に立った複数年事業への活用
- ③ 家庭ごみ有料指定袋制の実施に伴う財源の使途の明確化

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

3R共汗サポーター制度（仮称）の創設	3,300千円
観光地等における重点的美化活動事業（雇用対策事業）	9,400千円
不法投棄ごみ対策 全体事業費	73,146千円（うち新規分 10,000千円）
回収困難地域における不法投棄対策事業（雇用対策事業）	21,800千円
基金特別会計繰出金	915,700千円
公衆便所整備（JR嵯峨嵐山駅前）	
全体事業費	27,550千円（うち新規分 22,550千円）

<充実事業>

事業系ごみ減量、分別リサイクル対策	
全体事業費	44,821千円（うち充実分 42,989千円）
使用済てんぷら油回収事業	
全体事業費	35,700千円（うち充実分 6,400千円）
コミュニティ回収	
全体事業費	46,000千円（うち充実分 2,200千円）